

バイオマス取組事例概要

《社団法人日本有機資源協会会長賞》

- ・ 応募主体 富良野地区環境衛生組合
 - ・ 都道府県・市町村 北海道富良野市
 - ・ 取組分野 堆肥

取組概要

家庭生ごみ、し尿汚泥を堆肥化(域内製材工場の木くずを水分調整材とし利用)。家庭生ごみの回収にバイオマスプラスチック製の回収袋を使用。

富良野市及び近郊の4町村(上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村)で策定した「富良野生活圏一般廃棄物(ごみ)広域処理計画」に基づく地域内の家庭生ごみ、し尿汚泥の堆肥化の取り組みである。

生ごみの分別回収にあたっては、バイオマスプラスチック製の回収袋を利用しているほか、住民説明会等を開催することによって、十分な住民の理解を得ており、堆肥化に当たって生ごみの品質の安定を確保している。

生ごみは、生ごみ破碎機で破碎された後に、し尿処理施設にて発生したし尿汚泥(脱水汚泥)、水分調整材として木くず(域内製材工場)と混合し、堆肥化を行っている。

堆肥の製造過程で発生する生ごみ汚水、脱臭設備等の汚水はし尿処理施設にて処理を行っている。

製造した堆肥は農業協同組合を通じて農家に販売している。また、堆肥の成分調査及び施用試験等も実施している。

また、住民に製造した堆肥を年に1回無償で配布するなど、住民の生ごみリサイクル意識の高揚に努めている。

